

報道関係者 各位

滋賀県におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す  
遺伝子変異が検出された新型インフルエンザウイルスについて

滋賀県から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ新型インフルエンザウイルスの分離が確認されたとの報告がありましたので、その概要について、別紙のとおり、情報提供します。

この件につきましては、19時45分まで健康推進課（528-3619）で待機しております。

## 資料提供

提供年月日：平成21年(2009年)11月5日

部局名：健康福祉部

所属名：健康推進課

担当名：感染症・難病担当

担当者名：辻・澤

内線：3619・3620

電話：077-528-3619

E-mail：ef00@pref.shiga.lg.jp

## 抗インフルエンザウイルス薬「タミフル」に耐性を示す 新型インフルエンザウイルスの確認について

滋賀県内で確認した新型インフルエンザ患者から分離された新型インフルエンザウイルスのオセルタミビル（商品名：タミフル）耐性遺伝子について調べたところ、オセルタミビル耐性マーカーH275Yが検出されましたので、その概要についてお知らせします。

なお、厚生労働省によれば、タミフルに対する耐性を持つ遺伝子変異は、ウイルスの重篤度（病原性）には直接影響を及ぼすものではないとされています。

### <ウイルス検出の概要>

#### 1 滋賀県衛生科学センターにおける検査結果

分離されたウイルスの遺伝子解析の結果、オセルタミビル耐性マーカーH275Yが検出された。

#### 2 患者の概要および経過

<概要> 6歳、女性

#### <経過>

- ・ 本患者（6歳、女性）は、10月14日から激しい咳症状が出現したため、入院加療。インフルエンザ簡易検査A型陽性が確認され、タミフルの投与を受けていた。
- ・ 一端、解熱するも19日から再び高熱となったため、タミフル投与を止め、同日よりリレンザ吸入にて治療を行っていた。
- ・ 10月20日にPCR検査で、新型インフルエンザ確定された。
- ・ インフルエンザ症状は軽快している。

#### <その他>

- ・ 本患者の周辺には、タミフル耐性を示す者はいない。

\* 患者等の個人情報には、特段のご配慮をお願いします。

\* 本件は、平成21年10月8日付け厚生労働省新型インフルエンザ対策推進本部事務局通知「新型インフルエンザ（A/H1N1）に係る今後のサーベイランス体制について（改訂版）」に基づき、新型インフルエンザウイルスの遺伝子分析等により、抗原性の変化や薬剤耐性等を確認したことから厚生労働省と連携のもと、公表を行うものです。